

文京シビックセンター改修基本計画に基づく平成30年度実施予定について

平成29年3月に策定した文京シビックセンター改修基本計画（計画期間 平成30年度～39年度）に基づき、平成30年度においては以下に示す非常用発電設備増設、その他の改修工事等を実施する。

1 非常用発電設備増設

現状

地下4階に既存発電機 1000kVA×2台が設置されており、3日分の備蓄燃料により、非常用エレベーターや防災設備等に必要な電力供給を行うことができる。

新たな非常用発電設備の設置

新たに非常用発電機 2000 kVA×1台を3階に設置する。併せて、新たに専用の燃料タンクを設置し3日分の燃料を備蓄すると共に、燃料事業者との協定により燃料を確保し、連続稼働期間を7日間とする。（予定工期 平成30年度～32年度）

併せて、現状のほか帰宅困難者受け入れスペース、災害対策本部機能補完室等にも電力供給範囲を拡充する。

地下4階既存発電機の活用

新たな発電機が使用出来なくなった場合（連続稼働7日経過・燃料切れ等）のバックアップ電源として使用（3日間稼働）する。

○非常用発電設備機能強化イメージ図

現状の非常用発電設備	新たな非常用発電設備
<ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄燃料による3日間の連続稼働 ・ 非常用EVや防災設備等に必要な電力供給 ・ 一般事務室等には通常の1/3程度の電力供給 	<p>（新たな発電設備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄燃料3日分+燃料事業者との協定により7日間連続稼働 ・ 帰宅困難者受け入れスペース、災害対策本部機能補完室等、電力供給範囲拡充 <p>（既存発電設備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バックアップ電源として使用（3日間稼働）

2 その他の改修工事等

中央監視システム更新工事

空調設備等の自動制御を行なうシステムの更新工事。平成28年度より4年計画で実施中。

通年稼動空調機器更新工事

機械室等の通年終日運転している空調用冷房専用機の更新工事。平成28年度より4年計画で実施中。

今後予定している改修の調査設計等

設備機器等耐震化、エレベーター長周期地震動対応、災害対策本部機能強化、特定天井改修、防水板設置、防火設備改修、サイン多言語化、ゴンドラ更新等